

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木が気になる家

グループの名称

ハウズドクター研究会

直近採択グループ番号

04-0324-0218

(グループ代表者)

代表者名

野口 純

代表者印

代表者所属先

野口建設有限会社

代表者所在地

埼玉県日高市北平沢171

代表者電話番号

042-989-3052

(グループ事務局)

事務局事業者名

ミズノ株式会社

事務局担当者名

水野 美和

印

事務局郵便番号

357-0022

事務局所在地

埼玉県飯能市新光46-2

事務局電話番号

042-972-3100

事務局FAX

042-973-1202

事務局担当者E-mail

kininaruie@mizuno-cp.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	請負契約書の写しを事務局に提出した順とする									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸			
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸				
当初予算	採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木が気になる家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県全域・東京都下
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ハウストクター研究会	(結成年) 2013年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0324-0218	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・都心部に接する地域であり、外皮性能はヒートアイランド現象の影響など、今後の気候変化に対応するため、平成25年省エネ基準よりも高い性能向上に努める。 ・施工構成員が多く位置する埼玉県西部地区は戦後、杉や桧の植林が盛んな地域であり、現状多くの成熟した木々が育っていることを考え、さいたま県産材を積極的に使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・木材生産地域であることから木造在来軸組工法又は木造枠組壁工法を標準とし、内装材にも木材を積極的に使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・自然な風の流れを作れる間取りの工夫及び開口部の設置に配慮する。 ・三世代同居といった長期的な家族構成に対応できる耐力壁に配置に配慮する。 ・動線のバリアフリー化と共に、腰掛等にもなる段差の活用を推奨する。	○
④①～③の背景	・都心部に接したベッタウンであり、比較的2～3世帯の家族がまだ多くみられるが、今度の高齢化により単世帯も増していくことなども考慮した家づくを出来る限り提案していく。 ・西川材の産地であることから、大工・建具などの職人が多く、これらの技術の継承と技術を駆使した家づくりも推奨していく。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・ハウストクター研究会は、施工業者の正会員と木材供給業者・建材メーカー等の賛助会員で構成し、年に2回以上の勉強会・親睦会を開催し、スキルの向上と情報交換の場としている。この取組を引き続き継承すると共に、地域に密着した、つくり手による安心・信頼のある家づくりを目標としている。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・構造材は105mm以上とする。 ・床下地材は12mm以上の合板とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・断熱材や開口部などの断熱性能に関する建材はできる限り統一する。断熱材は熱伝導率0.038以下、開口部は熱貫流率3.49以下を推奨していく。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・建材や資材をスムーズに供給するため、調達ルートの固定や数量の確保などコスト削減に努めていく。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・当構成員を主メンバーとし、年1～2回開催する。必要であれば、外部有識者を招いていく。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ハウストクター研究会の管理運営を行う。 ・市場状況や商品の情報収集を行い、迅速に構成員に発信すると共に、パッケージ商品の検討など、スムーズな生産体制を構築していく。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・【フラット35】対応木造住宅工事仕様書を活用し、【フラット35】S(省エネルギー性)を施工標準とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工構成員がそれぞれ加入している瑕疵保険を利用し、結果を建て主と事務局に報告する。 ・施工チェックリストを作成し、2名以上のチェックに努め、引渡し前には、建て主立会いで現場確認をする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・商品建て主が分かりやすい見積書の作成と、プレゼンボードを活用した使用部材の「見える化」に努める。 ・施工中に生じた変更・追加の見積りなどは、できる限り明確に表示する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域に密着したグループとなるため、構成員主催のイベントを開催し、活動趣旨を広めていく。また、ホームページを利用し、グループ活動を積極的に告知する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・今回も申請期間では補助金対象となる住宅物件がない施工構成員が多いが、施工実績のある施工構成員が講師になった勉強会を開催してほしいとの要望もあるので、構成員同士の交流を盛んにした勉強会や研修会を開催し、積極的に参加して各々が対応できる体制を確立できる期間としたい。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木が気になる家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県全域・東京都下
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ハウズドクター研究会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0324-0218	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持保全計画書を作成する。	○
	①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・顧客管理システム(住宅履歴の図書館)、当研究会作成(劣化状況点検調査表)を推奨する。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準の整備	
	②-1 点検の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・補修前、補修後を画像で残す。	◎
	③ 住まいの管理	
	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・勉強会等で各々の管理体制を発表し、利点は積極的に取入れるなどして管理体制を強化する。	○
	③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・前年に続き、ファミリー向けの「木」への愛着と理解を深めてもらうイベントを開催する。	◎
	③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・外部講師による、住宅ローンや税金関連などの相談会をイベントと共に開催する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局を中心とし、構成員の現場技術者の意見を交えた検討会を勉強会と共に開催する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が情報をまとめ、グループで臨時協議を行う。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵事例等を題材とした勉強会を実施。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
	・リフォーム物件の比率が年々多くなってきていることや、リフォームを中心にしている構成員もいることを踏まえ、「長期優良住宅化リフォーム推進事業」「住宅省エネリノベーション促進事業」などの制度にも知識を深めていく。 ・リフォームを行う際に、今後「ホームインスペクター」の資格が重要になると思われるので、積極的な取得を検討していく。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工実績のある構成員による勉強会を開催し、具体的な情報交換ができるよう努める。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が、現場で確認できる施工マニュアルなどを作成、提供していく。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・勉強会で確認していく。	○
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・2020年には全ての施工構成員が省エネ基準に適合した家づくりができるようスキルアップを図る。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が業種ごとの情報を収集し、勉強会等でグループ内の共有に努める。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 2	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・平成29年度のスケジュールが確定次第、構成員に参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員からの提案や市場状況などを事務局で情報収集し、各構成員に発信する。	○
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
	・様々な分野の研修会・勉強会に参加し、技術・知識の向上を図る。 ・事務局からも省エネ基準の概要を各構成員に積極的にアナウンスし、技術の向上に寄与する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) 木が気になる家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県全域・東京都下																								
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) ハウズドクター研究会	(結成年) 2013年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		04-0324-0218																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																											
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																											
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄																								
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・土台、柱に桧材を使用することを推奨する。 ・合法木材証明制度の認証を受けた構成員から供給を推奨していく。	○																								
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上																									
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>		主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	・原木供給市場 → 製材工場 → 木材流通業者 → プレカット工場 → 木材流通業者 → 施工業者 → 建て主 (製材工場 → プレカット工場、または、プレカット工場 → 施工業者という流れになる場合あり) (施工構成員によっては、手刻み加工の場合あり)																									
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が原木供給事業者または製材業者と情報交換し、材料に変動が生じた場合は、構成員に速やかに発信する。	◎																								
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が原木供給事業者または製材業者と情報交換し、価格に変動が生じた場合は、構成員に速やかに発信する。	◎																								
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・見積り時に必要な数量を把握し、契約時にはスムーズな供給をできるように、構成員で情報共有する。	○																								
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度使用目標 12枚(1畳換算)	○																								
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																								
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度使用目標 12枚(3尺×6尺換算)	○																								
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度使用目標 12枚(3尺×6尺換算)	○																								
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・当会対象地域内の比企郡小川町は和紙の生産地であることから、和装のみならず洋装にも活用できるように提案していく。	○																								
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																								
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																								
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・顧客管理システムなどを活用し、その蓄積データから住環境の傾向をリサーチする。その情報をグループで共有し、今後の家づくりに役立てる。	○																								
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・周囲の住環境や自然環境と調和のとれたプランニングを提案していく。 ・建設地の景観条例などをあらかじめ把握し、遵守した家づくりする。	○																								
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・リビングの一部を畳コーナーにする、建具に和紙を取入れるなどを提案をする。	○																								
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・「ハウズドクター研究会」として、地域の住宅関連産業だけでなく、地域の活性化に貢献できるような活動に参加又は協賛する。 ・木造住宅の良さだけでなく、その地域に住むことの素晴らしさを知ってもらい、潜在需要の不確保に努めていく。	◎																								
カ. その他																											
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組																											
平成28年熊本地震の復興に資する取組																											

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木が気になる家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県全域・東京都下
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ハウスクーター研究会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0324-0218	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・当会に所属する施工構成員は、今までにそれぞれ特色のある注文住宅を施工してきた経緯がある。よって、下記の仕様を共有とし、それぞれの特色を損なうことのない建築物を供給していく。

【長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・優良建築物】

- ①在来軸組工法又は枠組壁工法
- ②断熱材 熱伝導率0.038以下
- ③開口部 熱貫流率3.49以下
- ④節水機器の設置